

[目 次]

1999・8

ページ

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	スーパーカミオカンデにおける 大気ニュートリノの観測とニュートリノの質量の証拠	梶 田 隆 章	391
EUREKA 〈研究紹介〉	銀河中心の巨大ブラックホールのガス供給への影響	福 田 浩 之	399
EUREKA 〈研究紹介〉	ヘール・ボップ彗星の偏光撮像観測	古 莊 玲 子	404
シリーズ	《 ^{そらと} 天空翔ぶ天文台(8)》 ガンマ線バースト観測衛星 HETE	河 合 誠 之	412
雑報	星形成に関する国際会議 — Star Formation 1999 —		414
	日本天文学会早川幸男基金による 渡航報告書		416
月報だより			417

[表 紙 説 明]

「スーパーカミオカンデは太陽ニュートリノや宇宙線が大気中で生成する大気ニュートリノを観測して、ニュートリノの質量の有無を調べることを主目的の一つとして建設された。測定器は総重量5万トンあり、純水で満たされている。写真は1995年秋に建設中の測定器の内部を撮影したもの。水槽一面に取付けられた約11000本の光電子増倍管が水槽内のニュートリノ反応の際に放出されるチェレンコフ光をとらえる。この写真の後、測定器の建設が終了し、純水が注入され、1996年春から観測が開始された。」
(SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)